

- 1面：自衛隊70周年記念観閲式
- 2面：自衛隊70周年記念観閲式（1普通）
中隊訓練検閲（32普通）
- 3面：緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（34普通）
自衛隊70周年記念観閲式（1後支連）
- 4面：#2師団演習（1高大）#3大隊検閲（1高大）
ふれあいコンサート（1普）夜間ホイスド訓練（1飛）
- 5面：自衛隊70周年記念観閲式（1偵戦大・1師付）
レンジャー訓練（1高大）遺骨収集事業（1特防）



令和6年12月25日 第28号

師団長統率方針「使命を果たす」
師団長要望事項「信頼」「安全」

陸上自衛隊第1師団広報紙

発行：第1師団司令部総務課広報班
行：第1師団懇話会
所：東京都練馬区北町4-1-1
電話：03-3933-1161（内線2150～2157）
専用線：8-31-2156

防衛省・自衛隊70周年記念観閲式



巡閲（部隊の威容を示す）



観閲行進（威風堂々の行進）



ドリルマーチ（統制された迫力ある演奏と行進）



特別儀仗（統制美で来場者等を魅了）

「信頼」される威容を誇示

一糸乱れぬ威風堂々の雄姿

師団は11月9日、朝霞訓練場において挙行された防衛省・自衛隊70周年記念観閲式に参列部隊及び行進部隊として参加した。観閲式では右破茂内閣総理大臣を視閲官として迎え、執行者である陸上総隊司令官の下、観閲部隊指揮官として第1師団長が満を持して式典に臨んだ。（関連の③④⑤⑥面）

観閲官は誇示において「自衛隊は国民にとって最後の拠り所です。だから、日本国におけるありとあらゆる組織の中で、最も規律厳正であり、最もお互いに対する思いやりがあり、そして自衛隊及びあらゆる組織の最も国民に信頼される組織であり、国民を感動させた。その感動と期待、国民からの「信頼」にこたえるべく、観閲部隊指揮官、第1師団長、島津誠司師団長、最前線に身を投じている隊員ら、全員約6000人、車約50両により力強い整列・行進によるドリル

への対応能力の保持を内外知らしめ、威風堂々たる観閲行進を披露し、その威容を誇示した。式典においても第1師団の奏する和子・旋律を基軸に、師団らっぱ隊の規律厳正・団結強固な整列・行進によるドリル

ご視聴はこちら

防衛省・自衛隊 公式動画チャンネル
陸上自衛隊 広報チャンネル

繋ぐ成功への思い 観閲式を支える隊員



らっぱ隊経験者による熱意ある指導（1師付）

師団は観閲式参列部隊及び行進部隊に対する指導を担任した。10月23日に編成を完了し、観閲式本番を迎えるまでの間、雨の日も時季外れの暑さにも負けず参列部隊の指導に当たった。準備訓練では各部隊の上級隊

曹が核心となり、若年隊員のモチベーションを維持しつつ、飽くなき統制美を追求するため熱く情熱に満ちる指導を行った。また各部隊に先立ち、1師団長は10月初旬から観閲台、観閲席、来賓席等の構築及び紅白幕、各席への椅子の設置等、現場のニーズに最大限に応え、観閲式の基盤を確実にした。さらにはアナウンス支援など前日から多くの隊員が丸となり観閲式成功の思いをもって支える力を発揮し、観閲式成功の原動力となった。



椅子の並びも1mm単位で統制を図る（1施大）



名譽と誇りにかけて観閲部隊等を指導（1師司）



1mmのずれも見逃さない飽くなき追求（1普通）

1普連

令和6年度観閲式任務完遂

唯一の徒歩行進部隊としての誇りを胸に

第1普通科連隊は11月9日、朝霞訓練場において開催された令和6年度自衛隊記念日観閲式に師団らっぱ隊、観閲部隊、特別儀仗隊の要員として参加した。

爽やかな秋晴れのもと6年ぶりに実施された本行事は、防衛省公式YouTubeでライブ発信された。

観閲部隊として唯一の徒歩行進部隊として、9月に配属されたばかりの新隊員も含め、熟練の指揮部による徹底した指導のもと、段階的に練成を重ね本番を迎えた。

本番では石破内閣総理大臣が観閲されるなか、練成の成果を遺憾なく発揮して部隊の威容を示した。また師団らっぱ隊と

して厳格に選抜されたらっぱ手たちは、らっぱ隊長中尖3曹（重迫肇中隊）の強いリーダーシップのもと、言葉隊とコラボレーションし、一糸乱れぬドリル演奏を披露した。観閲行進では武石中隊長、鈴木中隊長、中村中隊長がそれぞれ指揮する3コ中隊の徒歩行進により、その任を果した。6年ぶりかつ、全国にライブ発信されるといってうれしかった。初めて参加した観閲式でしたが、堂々と動作を行えたことはとてもいい経験になったと語った。

観閲式を通じ心身ともにタフになった隊員とともに連隊としてさらに精進していく。



観閲行進



堂々と部隊進入



互いに服装準備をする隊員



任務完遂を喜ぶ笑顔の若年隊員



らっぱ隊と特別儀じよう隊との共演



最後は達成感のある笑顔で

32普連

3コ中隊一丸で任務完遂 32普連は中隊訓練検閲を実施

第32普通科連隊は9月23日から27日までの間、東京土浦習場の市街地訓練場において第5次連隊練成訓練（第3次中隊訓練検閲）を実施した。

な作戦遂行能力の向上を図るとともに、現在の各中隊の練度を評価・判定し、その進歩・向上を促すことを目的として「任務検閲」を実施した。

民衆にトにおける武装工員混在に必要「任務検閲」を実施した。作員の捜索・撃滅」を課題として、第4中隊、第5中隊及び重迫肇中隊の検閲を行った。

重迫肇中隊は状況に応じた作戦地域において、訓練検閲日である捜索、包囲網の形成及び検閲を実施した。第4中隊は重迫肇中隊や協同部隊である16式機動戦闘車（MCV）の掩護を受けつつ、市街地訓練場に潜伏する武装工員を捜索・撃滅を行った。第5中隊は激しく抵抗を続ける武装工員が立て籠もる建物に

対して、ヘリコプターと連携した空路、地上及び地下の三方向から果敢に突入し、武装工員を拘束するとともに住民を後送し、状況終結となった。

本訓練検閲の連隊長要領事項である「戦闘力の組織化」「探知活動の強化」が評価された。



武装工員を捜索し安全化を図る



リベリングによる空路突入を図る

化」及び「安全管理」を受閲訓練部隊の全隊員が銘肝し、それまでの訓練成果を遺憾なく発揮、任務を完遂した。



32連隊公式Xフォローお願いします

日本拳法東日本総合選手権大会

3連覇を懸けて奮闘



果敢に攻める32普連チーム

32連隊は10月20日、東京武道館で実施された日本拳法東日本総合選手権大会に参加した。16コチームが参加した団体戦では、3連覇をかけた並々ならぬ思いで選手達は試合に臨んだ。惜しくも本大会優勝の権威を逃した。

加した団体戦では、3連覇をかけた並々ならぬ思いで選手達は試合に臨んだ。惜しくも本大会優勝の権威を逃した。

悔しさをバネに感謝の思いを持って

2中隊 寺田2曹

【試合への思い】3連覇をすることを目指して、今日まで練成してきました。

【試合を終えて】練成を重ねた万全な状態で臨んだからこそ、今回返したいと思います。



チームメイトと（前列右寺田2曹）

【優秀選手賞を受賞して】チームとして、勝ち上がって行けたからこそ負けた責任があるので、この賞に恥じないように今後も成果を残し続けなければならぬと使命感を強く感じます。引き続き応援をよろしくお願いいたします。

34普連

各種災害発生時の行動を演練 緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練

第34普通科連隊は11月13日から14日までの間、静岡県伊豆市の大城ふるさと広場をメイン会場として行われた、令和6年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練に参加し、自然災害及びNBC災害における対処行動について演練し、消防・警察等の関係機関と連携強化を図った。

自然災害における対処訓練では、静岡県東部地区で大規模な災害（台風・地震）により土砂災害、建物の倒壊、火災及び津波等により大きな被害が発生したとの想定で行われ、倒壊家屋及び土砂災害現場における人命救助等を行った。

またNBC災害における訓練では、不特定多数の出入りするイベント会場で何者かが容器に入った液体を散布し、目の痛みや呼吸の異常を訴える者が多数発生したとの想定で行われ、現場周辺に簡易除染所を開設するとともに、有毒化学剤で汚染された負傷者を各関係機関が開設した除染所に搬送する一連の行動を実施した。

連隊は今回得た教訓と今後検討すべき事項について認識を共有するとともに、関係機関との連携強化を図っていく。



イベント会場（天城ドーム）から負傷者を搬送する施設作業小隊

勤続25年の栄誉をたたえる



連隊は11月6日に勤続25年を迎えた隊員11人に対して永年勤続者表彰式を実施した。

式は板表駐屯地訓練場に於いて、中佐副隊長の前で記念撮影を行い、勤続25年の栄誉をたたえ、今後の更なる活躍を祈念した。

において連隊の隊員が参列する中で行われ、連隊長が副隊長から勤続者表彰状を代読して受賞者各人に賞状を手渡した。

式終了後に場所を移動して、橋中佐副隊長の前で記念撮影を行い、勤続25年の栄誉をたたえ、今後の更なる活躍を祈念した。

支援の場を活用して練度向上を図る

実弾射撃により円滑な訓練の実施に寄与



連隊は10月2日、北富士演習場において師団が実施した、令和6年度第2回師団演習者集台訓練における実弾射撃の観測訓練を実施した。

本訓練は師団の射撃観測要員に対し、観測者として必要な知識及び技能を習得させることを目的に行われ、連隊は重迫撃砲中隊をもって120mm迫撃砲の実弾射撃を実施した。

中隊は観測者の射撃要求、射撃の判定及び射撃の修正に対し、射撃準備から射撃までの一連の行動を速やかに実施して射撃し円滑な訓練の実施に寄与した。

また今年度予定される師団重迫撃砲射撃競技会に向けた120mm迫撃砲の射撃練度の向上を図ることができた。

表部隊でも裏舞台でも大活躍 1後支連

凛として後方支援部隊の威容とその実力を示す



内閣総理大臣の巡閲を凛として受ける後方支援部隊

第1後方支援連隊は11月9日、朝霞訓練場において挙行された令和6年度自衛隊記念日観閲式に、後方支援部隊として参列するとともに、電品科部隊にも隊員が参加し、凛として威容を示した。

観閲部隊を輝かせる補給整備・回収隊

さらには観閲式に先駆けて準備訓練が始まる10月21日から11月9日までの間、補給整備・回収隊として朝霞訓練場に整備所を開設して、訓練時に発生した車両等の故障に迅速に対応した。

並行して観閲式車両進行時に故障車両を迅速に回収できるよう訓練を繰り返して、万全の態勢を確立して本番に臨んだ。（写真①）

本番では全車完走を達成し、観閲式の整音円滑な実施に貢献し、観閲部隊の威容に負けぬ実力を誇示した。

青森六ヶ所対空射場にて実施

対地・対空実射訓練



1後支連は9月6日から17日までの間、青森県の六ヶ所対空射場にて、第2整備大隊隊長を訓練担任部隊指揮官として、対地・対空実射訓練（12・7mm重機関銃）を実施した。本訓練は師団各部隊・方面直轄部隊等から選出された基幹要員に対して、対空射撃は上空を飛行する模型飛行機を狙い、地上に設置された重機関銃で各組ごと追従射で射撃する。この際、弾道を確認できる曳光弾を数発ごとに織り交ぜて射撃し、射手は目視で標的を狙いつつ弾道修正を行い標的撃破を狙った。

本実射訓練に向けて、対地実射訓練を含め練度を積み重ねてきた。その成果を遺憾なく存分に発揮することができた。

プロとしての支援任務の完遂

連隊訓練検閲 輸送隊・衛生隊が受閲

1後支連は9月25日から30日までの間、東宮上6年度連隊訓練検閲を実施し、被支援部隊に対する支援を継続的に実施した。それに伴って輸送隊及び衛生隊の部隊協同による市街地施設における警戒・自衛戦闘（写真②）を実施し、支援任務を完遂した。

観閲式に参加して



第2整備大隊 小澤 七海 士長

第2整備大隊第1普通科直接支援隊で、通信班班長として勤務する小澤士長は、観閲式に特別儀仗として参加し、その所感を紹介します。その所感を紹介します。

Q 大変だった事は

A 吹奏技術のみならず、基本教練も特別儀仗として参加し、その所感を紹介します。

Q 今後の目標は

A 今後の目標は、この練度を維持できるように頑張ります。また大変な経験を得ることができたので、陸曹となり後輩たちに伝えていきたいです。



#2師団演習任務完遂 あらゆる手段を駆使して生き残れ

1高大



第1高射特科大隊は9月24日から28日までの間、東富士演習場において第2次師団演習に参加し、首都機能の維持に必要な作戦遂行能力を向上するための、基礎となる部隊

の野外行動に係る練度の向上を図った。訓練は師団の対空作戦に係る指揮・偵察・射撃、現代戦の脅威下において、地上作戦・戦闘に最大限寄与し得る部隊の基本的

行動及びあらゆる脅威から生き残り、任務を完遂するための隊員の基礎動作を演習し、所望の成果を収め第2次師団演習を無事に終了した。

訓練所感



本部管理中隊 関根 1士

Q 第2次師団演習に参加しての感想は？
HMGの掩体構築を行なったが、示された時間内に完成させることが出来なかった。今後は先立方が教えてくれた効率的なエンジンの使い方をマスターして、次に掩体構築をする時は率先して構築

し、示された時間内に十分な掩体を構築したいです。

Q きつかったことは？
日中は掩体構築で体を動かさず、夜間は射撃任務、さらに無段より睡眠時間が制限され、慣れない環境の連続で、肉体的にも精神的にもきつかった。きつい訓練でも無駄にできるように体力向上を図っていきたいと思います。

1施大

第3次大隊訓練検閲

任務を理解し損耗の極限を図り行動せよ

第1施設大隊は9月24日から10月4日までの間、朝霞、大宮及び古河駐屯地、東富士演習場において、令和6年度第3次大隊訓練(第2中隊、通信小隊及び交通小隊訓練検閲)として、重要防護施設防護等及び防衛支援に任ずる中隊等の行動について訓練検閲を実施して、



武装工作員による襲撃への対処



敵の接近経路上への地雷原の構成

伝統ある「音」の継承

轟け！朝霞振武太鼓



第3中隊 増田 2曹

1施大を基幹とする朝霞振武太鼓は11月14日から16日までの間、日本武道館で実施された白檜隊音楽まつりに参加し、迫力

ある太鼓演奏を披露した。朝霞振武太鼓リーダーの増田2曹(3中)の所感を紹介したい。

Q 大変だったことは？
訓練や支援等で練成時間が取れず、なかなか音

Q 音楽まじりの感想は？
無事に終える事ができて良かった。今回で14回目の参加だが、達成感・安心感は毎回変わりません。

Q 今後の目標は？
人の入れ替わりがある中で伝統の「音」を継承していくこと。お客さんに楽しんでもらえるように朝霞振武太鼓の「音」を天下にしていきたいです。

1音

地域住民との懸け橋

40回目を迎えたふれコン

第1音楽隊は9月8日に、板橋区文化会館ホールにおいて第40回ふれあいコンサートを実施した。コンサートは募集対象者及び近隣住民等の幅広い年齢層を対象に、白檜



らっば隊との合同演奏



太鼓隊との合同演奏

隊に対する理解及び親近感の醸成を目的として、ゲストに第1普通科連隊らっば隊、太鼓隊2個チーム、コンサートは募集対象者及び近隣住民等の幅広い年齢層を対象に、白檜

隊に対する理解及び親近感の醸成を目的として、ゲストに第1普通科連隊らっば隊、太鼓隊2個チーム、コンサートは募集対象者及び近隣住民等の幅広い年齢層を対象に、白檜

1飛

夜間ホイスト訓練

緊急患者空輸に備える

繋ぐ命の鎖

第1飛行隊は11月19日に、立川駐屯地訓練場に於いて夜間ホイスト訓練を実施した。

この訓練は師団レンジャー想定訓練間の急患後送時機に先んじて実施したものであり、実戦さながら



操縦士をはじめ連携して患者を吊り上げる

訓練後のAARでは「夜間かつ悪天候において急患空輸が発生しても安全確保かつ迅速に後送するには」を各人が意識し、階級に関係なく問題点・改善案を案出した。特機間は実際に発動することがないことを願いつつ、高い意識を保持し即応態勢を維持する。

第1部は1曲目に「セブテンバー」、2曲目に第1音楽隊の歌姫である矢口曹長が「愛の讃歌」を熱唱し、観客の心を一気に魅了した。

続くらっば隊との合同演奏では、今回のコンサートのために入澤 徹訓氏が作曲したマーチ「パリー・グレイ調」が演奏され、朝霞振武太鼓・北富士天正太鼓の単独演奏の後、太鼓隊との合同演奏で「吹奏楽ののらぶソディ」を演奏し、喝采のうちに1部は幕を下ろした。

第2部の冒頭では第1普通科連隊長が防衛講話を行った。

その後、埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊の単独演奏、続いてパリー五輪

メダリストの高谷 大地1尉、新添 左季2尉のインタビュを挟み、警察音楽隊との合同演奏で「フェイスニールランド・セプレーション」「リバーダンス」を演奏。アンコールでは「翼をください」を出演者全員が合唱付きで演奏し、大盛況のうちに終演を迎えた。

今回はらっば隊、太鼓隊、警察音楽隊それぞれが団休との合同演奏が繰り広げられ、40回の節目に相応しい大規模なコンサートとなった。終演後の見送りでは「大変良かった」との言葉が多数聞かれ、本コンサートが地域住民との架け橋であったことを実感した。

射撃練度向上を図る

60mm迫撃砲実弾射撃



砲を安全に固定し射撃を行う

1偵戦人は11月20日から21日までの間、北富士演習場において戦闘中隊が装備する60mm迫撃砲の実弾射撃訓練を実施し、射撃練度の向上を図った。60mm迫撃砲は砲手が砲身を手で保持し、弾薬手が砲後方から目標を見通すことにより照準して射撃する特性から、砲手及び弾薬手の連携が重要である。そのため実弾射撃



機甲科部隊を指揮する佐藤2佐



特別儀仗ようらっぱ隊に参加する石原3曹(右)

1偵戦大 規律厳正なる雄姿を誇示

第1偵察戦隊大隊は11月9日、朝霞訓練場で実施された防衛省・自衛隊70周年記念観閲式に参加した。大隊としては、令和3年度における新編以来初の参加となった。

参加に伴い第12偵察戦隊大隊、機甲教導連隊及び部隊訓練評価隊からの支援を受け、式典の盛況に寄与した。

本式典には観閲部隊のほか2名の隊員が、第1師団らっぱ隊及び特別儀仗ようらっぱ隊として参加した。大隊長以下「規律厳正なる雄姿を誇示する」との意気込みをもって本番の式典に臨み、各隊員が一糸乱れぬ行動を見せ、機甲科部隊としての威容を誇示するとともに、使命感及び士気の高揚を図ることができた。

観閲部隊として参加した西村1士からは「機甲科職種の代表の一員として、威容を示すことができた」と口をのぞかせ、らっぱ隊で参加した石原3曹は「節度ある動作でらっぱ吹奏を無事にやり遂げることができた」と達成感溢れる笑顔で話してくれた。



天山慰霊碑を慰霊する隊員



地下境内の捜索を実施する隊員

大隊は今後もさらなる射撃練度の向上を図り、部隊精進のために引き続き練成に励んでいく。

1特防 遺骨収集帰還事業を支援

第1特殊武器防衛隊は11月11日から27日までの間、硫黄島戦没者慰霊事業の支援に2人が参加し、国

隊員は遺骨収集所の遺骨捜索作業場所におけるガス検知要員として参加し、硫黄島内の滑走路

家事業の整備門前を遂行に寄与した。

同隊員は遺骨収集所の安全かつ整齊・円滑な作業実施に大きく貢献した。

硫黄島戦死者2万1900人のうち令和5年度末までに発見・収集された遺骨の数は1万652柱で、未だに半数近くの遺骨が島内に眠ったまま本土への帰還を果たしていない。

参加した中尾3曹は「陸上自衛隊の代表として遺骨収集団を最大限支援し、1柱でも多くの収容に繋げ、本土還送を果たされるように全力で支援します」と熱い思いを語った。



障害通過訓練の様子



第1中隊長から激励品の贈呈



10マイル走で旗手として仲間を鼓舞するR高橋

1通大 「初志貫徹」自らの限界に挑戦

第1通信大隊第1中隊の高橋士長は、9月13日科連隊部隊集合教育「レンジャー」に大隊から唯一参加している。教育はすでに第7週目に到達し、想定訓練を目前に身体と精神を鍛え上げる極限の訓練が続く。

第1中隊長の後藤1尉は「初志貫徹、中隊長や原隊の仲間をサポートし、高橋士長に感謝の思いと決意を胸に自らの限界に挑戦する。」

一参加している。教育は全員からの応援メッセージを手渡した。高橋士長は「最後まで意志崩れや怪我がないように全力で任務達成に邁進します」と初志貫徹、中隊長や原隊の仲間をサポートし、高橋士長に感謝の思いと決意を胸に自らの限界に挑戦する。

1師付 自衛隊記念日観閲式を支援

第1師団司令部付隊は、10月23日から11月9日にかけて自衛隊記念日観閲式に参加するとともに、実行本部を支援して観閲式準備訓練の整齊円滑な遂行に寄与した。

観閲部隊指揮官(師団長)が乗るCCVの操縦手、師団長旗手、徒歩部隊の訓練指揮、車両行進の発進統制、定期使のマイクロパスの運行等とその任務は多岐に渡った。

観閲行進準備で風爽と登場する師団長・整列幕僚用のオープン車の先頭で見事な操縦技術を見せる大野3曹は「フルアクセルで時速60km、車両間隔3mを維持し、師団長の前で車面をスムーズに停車させる。それは3台のブレーキランプが先頭車から順番に1秒間隔で点灯する秒レベルの統制です。無事に任務を果たしホッとしました」と安堵の笑みを浮かべ話してくれた。訓練から本番へと様々な任務を支援した隊員達は式典終了後、皆一様にやり終えた達成感のうちにあった。

サポートに徹し成功へと導く



風爽と観閲部隊の先頭を行進するCCV

内閣総理大臣のファミリーとなった北條曹長は「定年前にこんな大役を拝命するとは思ってもいませんでした」と冗談交じりに話す。

徒歩行進部隊の発進統制を任せられた稲川2曹は「手旗の上げ下げを繰り返して腕が痺れるようになってしまいましたが、やり甲斐がありました。何せ間違えられませんでした」と口をのぞかせた。



・北条曹長(写真左)・一糸乱れぬ車両を停止
・稲川2曹(写真右)
大野3曹(写真下)

頭号

清談

「最近の若い者」

第1高射特科大隊長

2等陸佐 西村直樹

第1高射特科大隊長の西村2佐です。高射大隊は駒門駐屯地に所在しており、首都圏の防空及び災害においては、神奈川県西部の2市8町を隊区として担任しています。

大隊の主要な特性の一つに「平均年齢の若さ」があり、ついつい「最近の若い者は…」といった近の若い者は…」のくだりは実は、今から5千年前の古代エジプトの遺跡

の壁画や遺跡にあった粘土板の書簡にも「最近の若い者はだめだ…」と記されていたそうです。

古代ギリシャの哲学者として有名なプラトンも同じようなことを言っていたと残されています。

日本でも古くから各地で言われており平安時代の「枕草子」や鎌倉時代の「徒然草」にも同様のことが記されています。

実際に各時代の若い者が駄目なのであれば、我々

現代人に至るまで、各時代における若い者は常に「最近の若い者は…」と言われ続けられてきたことには驚きです。

高射大隊は「平均年齢の若さ」を利点と捉え、若者の声に耳を傾け、その声を積極的に形にしていき、今の若い者たちが「今後の第1高射特科大隊は我々若い者が築いていくんだ」と誇りと気概を持って勤務できる環境を構築して、更なる発展を遂げたいと思います。

ではなく、我々中高年にも、新しく柔軟な発想を多く蓄えており、いつの時代においてもその時代の先駆者であったと思います。

ただいつの時代も、良くも悪くも若い者は目立ちますので「最近の若い者は…」と言われ続けられていくのだと思います。

高射大隊は「平均年齢の若さ」を利点と捉え、その声を積極的に形にしていき、今の若い者たちが「今後の第1高射特科大隊は我々若い者が築いていくんだ」と誇りと気概を持って勤務できる環境を構築して、更なる発展を遂げたいと思います。

頭号 男子

The Man of 1st Division

「憧れを超越する」

第34普通科連隊

三星 登我 3等陸曹



今号の頭号男子は板妻駐屯地に駐屯する第34普通科連隊の三星登我です。高校生のころはバレーボール部の副キャプテンとして一人一練習していた三星3曹は、新隊員教育隊の班長の姿を見て最前線で戦える精強な隊員になりたいと思い普通科を希望しました。

Q 入隊の動機は
叔父が白帯官でその勧めもありましたが、小さいころから「誰かの役に立てる」職業に就きたいという思いがあったので、自衛隊の入隊を決めました。

Q 印象に残る訓練は
令和4年度の北海道大別演習場で行われたHT

望、現在は中隊の狙撃手として高校時代に培った体力と忍耐力をもって頑張っています。

Q 入隊の動機は
叔父が白帯官でその勧めもありましたが、小さいころから「誰かの役に立てる」職業に就きたいという思いがあったので、自衛隊の入隊を決めました。

Q 印象に残る訓練は
令和4年度の北海道大別演習場で行われたHT

C 訓練です。訓練間は天候が悪く雨で服が濡れ肌寒くなり、初めて「キツイ」と感じた訓練でした。しかし、それを乗り越えたことで自分に負けない気持ちにさらに強くなることができました。

また日々の訓練でも狙撃手として、射撃や潜入等、難しい任務を完遂できた時に感じられる達成感や忘れられない思い出になっています。

Q 今後の目標は
憧れである新隊員教育隊前期の班長を超える存在になることです。

毎日元気に、意気揚々と隊舎として何事にも自信をもって任務に臨み、陸上の手本となるよう頑張っていきます。

「挑戦」

第1通信大隊

橋本茜 3等陸曹



今日のフェアレディは第1通信大隊第2中隊共用通信小隊で通信の構成・維持・運営を行っている橋本3曹を紹介しています。

Q 入隊の動機は
もともと人を助ける仕事にしたいと考えていて、迷っていた時に父から口を揃えて勧められて興味をもち入隊を決めました。

Q 通信科を
選んだ理由は
新隊員前期教育でお世話になった隊員の班長が通信科だったので、とても人情に厚い方で班長と一緒に仕事をしたいという思いが強くあります。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

Q 今後の目標は
しっかりと目標を定め、失敗することを恥ずかしながら何事にもチャレンジして成長し続けていきたいと思っています。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

Q 印象に残る訓練は
陸曹候補生だった頃、ある訓練の状況終了後に行ったホットウォッシュアップで、班の先輩に熱い指導をいただいた時のことを今でも覚えています。陸曹候補生だった私に厳しくも愛のある指導をしていただき、隊員になる覚悟が足りていなかったと気付かせてくれました。

Q 今後の目標は
しっかりと目標を定め、失敗することを恥ずかしながら何事にもチャレンジして成長し続けていきたいと思っています。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

Q 今後の目標は
しっかりと目標を定め、失敗することを恥ずかしながら何事にもチャレンジして成長し続けていきたいと思っています。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

▲後文 池田 拓史3曹
▲大隊旗手としての功績
▲施設 三浦 大海3曹
▲大隊旗手としての功績
▲偵戦 平間 美徳3曹
▲隊旗手としての功績
▲飛 吉谷 春樹3曹
▲マーチングドリル隊
▲教官としての功績
▲音 遠藤 俊之2曹

「アサーション」プロから「アサーション」ブローの意見が主張するから「この言葉は、飛行隊長の航空安全指針になりません。皆さんは「アサーション」という言葉を知っていますか？

私がこの言葉を初めて聞いた時に「えっ！あざしん？？」と、恥ずかしなながらもどうしようもない想像をした事を覚えています。

「アサーション」とは性別・年齢・階級等に関係なく相手を尊重しながら

「相手は上司・先輩・後輩に言いたい事を言う」という相手も自分も大切にしたい「表現スキル」です。私はこの手法・スキルはとても大事な事だと思っています。3曹になりました25年前、私は先輩に物言いなさる恐ろしく「先輩の言う事は絶対」だと思いついていました。

ある日、航空機の機外にスピーカーを取付ける作業時に、取付け方が良く分からなかった私は先輩にお願いをし取付けを手伝ってもらいました。でもお願いが通らなかったらどうしようかと先陣に言いたい事があるやみませんでした。作業の様子を見に来た別の先輩が異常に気付いて大事に

は空らなかつたのですが、あのまま取付けていたら間違いなく航空機を傷つけた大きな事故につながったかもしれません。

私は言いたい事は言わないと危険だと感じ、この日からアサーションができるようになりまし。アサーションは安全の確立・任務完遂の為に必要スキルです。そして

私が大事にしているのはアサーションができる環境です。曹士が本場に言いたいことが言えるような環境を作り部隊の風通しを良くするようにこれからも日々精進していきます。

Q 入隊の動機は
もともと人を助ける仕事にしたいと考えていて、迷っていた時に父から口を揃えて勧められて興味をもち入隊を決めました。

Q 通信科を
選んだ理由は
新隊員前期教育でお世話になった隊員の班長が通信科だったので、とても人情に厚い方で班長と一緒に仕事をしたいという思いが強くあります。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

Q 今後の目標は
しっかりと目標を定め、失敗することを恥ずかしながら何事にもチャレンジして成長し続けていきたいと思っています。またそこから学び、得たことを後輩達に伝え、部隊の精進に繋がられたらいいなと思います。

▲後文 池田 拓史3曹
▲大隊旗手としての功績
▲施設 三浦 大海3曹
▲大隊旗手としての功績
▲偵戦 平間 美徳3曹
▲隊旗手としての功績
▲飛 吉谷 春樹3曹
▲マーチングドリル隊
▲教官としての功績
▲音 遠藤 俊之2曹

▲後文 池田 拓史3曹
▲大隊旗手としての功績
▲施設 三浦 大海3曹
▲大隊旗手としての功績
▲偵戦 平間 美徳3曹
▲隊旗手としての功績
▲飛 吉谷 春樹3曹
▲マーチングドリル隊
▲教官としての功績
▲音 遠藤 俊之2曹



防衛大臣を囲み記念撮影



大臣色紙「一念通天」

退官者紹介

栄光の紹介

- 第1普通科連隊
高橋 仁法 准尉 (10月23日付)
川野 淳吾 曹長 (11月11日付)
第32普通科連隊
西久 曹長 (10月23日付)
岸 金昭 准尉 (10月28日付)
渡邊 昭男 1曹 (12月2日付)
第34普通科連隊
佐藤 周二 曹長 (12月23日付)
第1後方支援連隊
鈴木 光弘 1曹 (10月16日付)
村杉 浩行 曹長 (10月22日付)
白石 光 2尉 (12月17日付)
池田 浩之 曹長 (12月26日付)
- 11月9日、防衛省・自衛隊70周年記念式典の全体的行事が終了後、防衛大臣及び陸上幕僚長による慰労・激励が自衛隊体育学校体育館で行われ、司令部 木下 芳和3佐が視察部隊訓練本部近衛長としての功績により防衛大臣から慰労・紹介されました。後日、防衛大臣直筆色紙が贈呈され、師団長より伝達されました。
- また陸上幕僚長から視察成功に寄与したそれぞれ功績により陸幕長メダルが各々に贈呈されました。(授与者は以下)
- ▼連隊旗手としての功績
1普通科 佐々木 福3尉
▼師団らっぱ隊長としての功績
1普通科 中矢 雄大3曹
▼列員の規範としての功績
1後文 池田 拓史3曹
▲大隊旗手としての功績
▲施設 三浦 大海3曹
▲大隊旗手としての功績
▲偵戦 平間 美徳3曹
▲隊旗手としての功績
▲飛 吉谷 春樹3曹
▲マーチングドリル隊
▲教官としての功績
▲音 遠藤 俊之2曹